

平成 29年度 西東京市立中原小学校 学校評価計画表

学校教育目標
 【学校教育目標】◎よく考える子（思考力、判断力、表現力、自己評価力）○思いやりのある子（人権感覚、ゆとり、価値観）○じょうぶな子（健康管理能力、体力、精神力）
 ○進んで実行する子（自主性、自立性、積極性）○よく働く子（勤労意欲、規範意識、社会貢献力）

目指す学校像(ビジョン)
 【目指す学校像】 子供が生き生きと学習し、教職員が使命感をもって教育活動し、保護者や地域が信頼して協力する学校
 【目指す児童像】 知・徳・体の調和がとれ、自らの向上を図る児童
 【目指す教師像】 専門職としての使命感と誇りをもち、創意工夫に満ちた授業の充実に努め、子供の心に灯をともしことのできる教師集団

前年度までの学校経営上の成果と課題
 (成果) 児童の基礎学力の向上及び体力向上への意識の高まりが見られた。学校関係者評価、保護者アンケートでは、本校の取り組みに対する評価も概ね良好だった。
 (課題) 自ら考え判断する力、考えや思いを表現する力を一層向上させること。そのために授業スタンダードを浸透させ、きめ細かい指導を学校全体で実施していくこと。

	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	具体的な内容(規準)	努力目標(評価基準)		成果目標(評価基準)		分析コメント	改善策	学校関係者評価	学校関係者評価記入欄
					努力目標 中間	努力目標 年間	成果目標 中間	成果目標 年間				
確かな学力の向上	できる喜び、わかる楽しさを味わえる授業の創造	学習規律、学習習慣の定着を図る。	・「中原小学習スタンダード」を全学級で継続指導し、学習規律を徹底する。 ・家庭学習の習慣化を図る。 【学力向上】	○「中原小学習スタンダード」を教室掲示し、学級指導、授業時間等で学習規律徹底のための指導を行う。 ○学年に応じた学習課題に毎日取り組ませる。	4 全教員が計画を実施 3 90%以上の教員が実施 2 80%以上の教員が実施	4 スタンダードに対する児童の達成度が90%以上 3 スタンダードに対する児童の達成度が80%以上 2 スタンダードに対する児童の達成度が70%以上	4 4 4 4	児童全体の約93%以上が中原小学習スタンダードを守って学習している」と答えた。	学校では、東京ベーシックドリルを活用し、算数の反復練習に取り組んでいる。また、校内学力テストの考察「指導ポイント」を実践している。これからも学習の基礎・基本のさらなる定着に向けて、中原小学習スタンダードを明確にし、分かりやすい授業づくりに努めていく。	A	1単位時間の授業の流れを明確にした授業を実践したことが、児童が分かりやすい授業だったと感じられる要因だったと思う。	
		基礎・基本の学習内容の確実な定着を図る。	・基礎的基本的な学力の傾向を把握し、個に応じた指導の工夫をする。 【学力向上】	○校内学力テスト(算数)の考察「指導のポイント」を実践する。 ○算数ベーシックドリルを活用し、反復練習に取り組ませる。	4 全学級が計画を実施 3 90%以上の学級が実施 2 80%以上の学級が実施	4 80%以上の児童が計算診断テストで、90点以上 3 70%以上の児童が計算診断テストで、90点以上 2 60%以上の児童が計算診断テストで、90点以上	4 4 2 4	児童全体の約95%が「計算する力がついてきている」と答えた。		A	児童センターで宿題に取り組んでいる児童をよく見かける。学習習慣が身に付いていると感じている。	
		特別支援教育の視点からの授業改善を図る。	・児童の学びの傾向を把握し、児童にとってより分かりやすい、きめの細かい指導を工夫する。 【学力向上】	○学年会・分科会で教材研究の時間を設定し、児童が楽しいと感じる授業の工夫を進める。 ○「授業スタンダード」を意識し、1単位時間の流れを明確にする。	4 全学年が計画を実施 3 5学年が実施 2 4学年が実施	4 授業に対する児童の満足度が90%以上 3 授業に対する児童の満足度が80%以上 2 授業に対する児童の満足度が70%以上	4 4 4 4	児童全体の約92%が「授業が分かりやすい」と答えた。		A		
豊かな心の育成	人との関わりを通し、思いやりの心と規範意識を育成	あいさつを中心とした言語環境作りを進めるとともに、いじめを許さない学校風土を醸成する。	・あいさつを中心として人と関わる力を高める指導を継続する。 ・教職員が率先してあいさつを励行する。 【生活指導】	○朝の教室でのあいさつ指導を年間を通して行う。 ○いじめアンケートを年間3回実施するとともに、いじめに関する授業を学期1回行い、いじめ防止に努める。	4 全教員が計画を実施 3 90%以上の教員が実施 2 80%以上の教員が実施	4 あいさつに対する保護者の満足度80%以上 3 あいさつに対する保護者の満足度70%以上 2 あいさつに対する保護者の満足度60%以上	4 4 4 4	保護者全体の約87%が「子供は挨拶ができる」と答えた。	中原小生活スタンダードを明確に周知徹底していく。今後も、家庭や地域と連携を取りながら、学校全体で豊かな心の育成に取り組んでいく。また、学校では自分から進んで挨拶できるように、教室での朝の挨拶指導を年間を通して行っている。今後も、いろいろな場面で繰り返し指導していく。	A	中原小生活スタンダードの取組みが教員からの働き掛けだけで形だけになってしまっているのではないかと感じる。児童が自ら実践しようとしてこそ、なのではないかと思う。	
		生活規律を徹底し、きまりを守る態度を育成する。	・「中原小生活スタンダード」を継続指導し、全学級で生活規律を徹底する。 【生活指導】	○朝や帰りの会、学級の時間等で、きまりを守る指導を行う。 ○「中原小のきまり」「中原小生活スタンダード」を教室掲示し、毎月、行動を振り返らせる。	4 全教員が計画を実施 3 90%以上の教員が実施 2 80%以上の教員が実施	4 スタンダードに対する児童の達成度が90%以上 3 スタンダードに対する児童の達成度が80%以上 2 スタンダードに対する児童の達成度が70%以上	4 4 3 3	児童全体の約88%が「中原小生活スタンダードを守って生活している」と答えた。		A		
		特別支援教育の推進	通常学級とつくり学級との交流を通して、互いの個性を尊重し合う教育活動を進める。 【生活指導】	○每学期、合同学年会を行い、児童の実態に即した交流及び共同学習を計画し、実践する。	4 全教員が計画を実施 3 90%以上の教員が実施 2 80%以上の教員が実施	4 特別支援教育に対する保護者の満足度が90%以上 3 特別支援教育に対する保護者の満足度が80%以上 2 特別支援教育に対する保護者の満足度が70%以上	4 3 4 4	保護者全体の約95%が「子供は思いやりのある行動をとれる」と答えた。		A		
健やかな体の育成	オリンピック・パラリンピック教育の推進	体育的活動を充実させ運動の習慣化を図る。	・走力・跳力を基本とし、その他に泳力、握力、投擲力の向上を図る実践をする。 【体力向上】	○縄跳び・持久走の強化月間を設け、全校で取り組む。 ○スポーツテストの結果を分析し、学年課題の運動に重点的に取り組ませる。	4 全学級が計画を実施 3 90%以上の学級が実施 2 80%以上の学級が実施	4 毎日外で遊ぶ児童の割合が90%以上 3 毎日外で遊ぶ児童の割合が80%以上 2 毎日外で遊ぶ児童の割合が70%以上	4 3 3 3	児童全体の約87%が「毎日外で元気よく遊んでいる」と答えた。	学校では、休み時間に外遊びを推奨し、縄跳び、持久走の強化月間を設けるなど全校で計画的に実践している。	A	なわとび月間、マラソン月間を設けることで、子供たちのやる気が引き出されている。	
		家庭と連携し、心身の健康および食育についての意識を高める。	・保健・給食に関わる日常的な指導を実践する。 【体力向上】	○年間2回、「元気いっぱいチェックカード」を活用して自分の生活について調べ、振り返りを行う。	4 全学級が計画を実施 3 90%以上の学級が実施 2 80%以上の学級が実施	4 生活習慣に対する保護者の満足度(7+)が90%以上 3 生活習慣に対する保護者の満足度(7+)が80%以上 2 生活習慣に対する保護者の満足度(7+)が70%以上	4 3 3 3	保護者全体の約81%が「子供は、早寝・早起き・朝ご飯に気を付けた生活を送ろうとしている」と答えた。	また、健康に気を付けた生活や、丈夫な体の育成に意識を向けた保健指導の充実をはかっていく。	A	オリンピック・パラリンピックの感動を共有できる児童であってほしい。	
		安全・安心と危機回避能力の育成	児童の防災意識を高め、非常時の対応力を育成する。 【生活指導】	○多様な想定による避難訓練を行う。避難訓練後に全学級で振り返りを行う。併せて地区班集会や、地区班での避難訓練を実施する。	4 全教員が計画を実施 3 90%以上の教員が実施 2 80%以上の教員が実施	4 避難訓練に対する児童の達成度が90%以上 3 避難訓練に対する児童の達成度が80%以上 2 避難訓練に対する児童の達成度が70%以上	4 4 4 4	児童全体の約98%が「避難訓練で安全に気を付けて活動している」と答えた。	毎月、多様な想定による避難訓練を実施し、学期の終わりに、知らない人から身を守る対応など全児童に話をしている。毎年セーフティー教室の実施や教員の不審者対応研修・訓練を実施している。	A	児童の安全が第一。民生委員による朝の見回りを通して、地域との挨拶がよくできている。	
協働関係の強化	家庭、地域との連携及び一体感強化	安全で整理の行き届いた学習環境作りに努める。 【生活指導】	・施設・設備の点検、整備を定期的に行う。 ・登下校指導、日直時の看護当番の見回りを行う。	○施設・設備の点検整備を毎月1回行う。 ○毎学期は始めと終わりに登下校指導を行う。また、看護当番が毎日校内の見回りを行う。	4 全教員が計画を実施 3 90%以上の教員が実施 2 80%以上の教員が実施	4 施設に対する保護者の満足度が90%以上 3 施設に対する保護者の満足度が80%以上 2 施設に対する保護者の満足度が70%以上	4 4 4 4	保護者全体の約92%が「学校は施設、設備の点検・整備、登下校の安全や不審者対策に努めている」と答えた。	さらに、教職員の防犯意識を高め、児童の安全や不審者対応に努める。	A		
		幼・保、中学校、地域との連携による教育活動を推進する。 【特活・文化】	・生活科、総合的な学習の時間のねらいに沿った体験活動を行う。 ・日本の伝統文化に触れるとともに文化に対する意識を高める活動を実施する。	○各学年、年2回以上地域人材を活用した体験的授業を実施する。 ○小学校の活動を伝える活動を行う。	4 全学年が計画を実施 3 5学年が実施 2 4学年が実施	4 連携に対する保護者の満足度が90%以上 3 連携に対する保護者の満足度が80%以上 2 連携に対する保護者の満足度が70%以上	4 3 4 4	保護者全体の約96%が「学校は保護者・地域と協力した教育活動を進めている」と答えた。	これからも積極的な情報発信に努め、保護者・地域と協力した教育活動を推進していく。	A	地域との連携はあるが、幼稚園や保育園、中学校との連携の強化を望む。	
		地域に中原小学校の教育を発信することで、理解と協力を得る。 【評価・情報】	・学校からの積極的な情報発信を行う。	○学校便り(毎月1回)、学年便り(毎月1回以上)、学級通信(随時)、ホームページ(毎月2回)を活用して計画的に情報提供に努める。	4 全教員が計画を実施 3 90%以上の教員が実施 2 80%以上の教員が実施	4 情報発信に対する保護者の満足度が90%以上 3 情報発信に対する保護者の満足度が80%以上 2 情報発信に対する保護者の満足度が70%以上	4 3 3 3	保護者全体の約90%が「学校は積極的に情報提供をしている」と答えた。		A		

「学校関係者評価」欄…A：自己評価は適切である。 B：自己評価は適切ではない。 C：評価のための資料が不足している。 D：評価は不可能である。